

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	経営方針に人権尊重を掲げており、雇用・教育・昇進・福利厚生等差別のない体制が構築されている。相談としてメンタルヘルス相談員を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	経営方針に人権尊重を掲げており、労働協約に服務規定として各ハラスメント対応を明記し職場の風紀・秩序を乱さないことを謳っている。役付者中心に啓蒙ビデオ等による研修も実施している。2021年4月、ハラスメント規程を制定し、相談窓口としてハラスメント相談員を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	勤怠管理システムを導入し、時間外労働が月35時間を超過した時点で部門長にアラートを発信し、長時間労働にならないよう未然に防止している。生産性向上のための機器導入や研修機会提供も積極的に実施している。									8.5 8.8								
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在はいないが、今後採用した場合のための調整を行う。				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	部門毎の安全衛生環境管理委員会で、安全で衛生的な労働環境の整備ができるように年間目標を立て、各部署が目標を達成できるように活動をしている。月1回開催される委員会では各部署の進捗状況を監視している。				3					8								
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	労働安全衛生法、男女雇用機会均等法の趣旨に則り、社内にメンタルヘルス相談員を配置するとともにストレスチェックを実施し、高ストレス者の把握と面談による対応と部門毎の状況把握により職場環境改善に努めている。				3													
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	再雇用制度により高齢者が活躍できる環境を整えている。女性の活躍推進に関する行動計画を策定、実施している。障がい者雇用については、次回法定雇用率達成に向けて雇用者数を充足できるよう採用活動を強化している。					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	社是に「人材の養成に努める」と謳っているように、教育訓練規定を制定し、会社業務が適切に遂行されるよう計画的な教育訓練を行っている。				4	5.5				8	9							
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	2021年4月、正社員と有期雇用者（パートタイマー）の同一労働・同一賃金の均等・均衡待遇について、法より1年前倒して実施した。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	2021年3月、健康経営優良法人認定取得。以降も体制整備を図りながら継続的に認定を取得している。健康増進・事故防止のため、朝・昼と1日2回ラジオ体操を全員で実施している。定期健診以外に生活習慣病予防健診の補助制度等各種制度を設けている。産業医の面接や見回り、健康講話等を定期的実施している。要精密検査者に対し、受診時の有給休暇付与および医療費の補助を実施している。				3					8								
<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物は、決められた場所に分別して保管し、処理契約を結んだ産業廃棄物処分業許可のある業者に処理を委託している。											11.6	12.4		14.1				
<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	各部門でエネルギー種別毎の使用量および温室効果ガス排出量を把握している。									7.3					13				

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	EA21を取得、維持をしている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	EA21で決められているように、環境経営レポートを年1回発行して、自社ホームページやEA21中央事務局ホームページにて開示している。												12.6					
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	本社屋上等に太陽光発電装置を設置し、再生可能エネルギーの利用を促進している。							7.2						13				
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	コピー用紙に再生紙を利用しているとともに、森林の機能向上に寄与する間伐材の利用を促進する団体「森の町内会」サポーターとして、会社案内やパンフレットには間伐材が原料の紙を使用している。												12.2	13	14	15		
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	労働協約に具体的事例を列挙して社員に周知している。																	16 16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	労働協約に公正で自由な競争を阻害する行為をしないことを掲げているとともに経営方針にも法令遵守を掲げている。																	16
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	職務発明規定を制定し、発明者としての権利を保障するとともに特許・実用新案権等知的財産権の取得・管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報取扱規定を制定し、個人情報の適正な取り扱いについて定めている。 個人情報取り扱い保管場所への入室もワークフロー化されており、ビデオによる事後チェックを行っている。																	16
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	原料メーカーの分析表及び社内分析などにより、紛争鉱物の含有が無いことを確認している。																	16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤー各社のホームページで経営理念、CSR活動、SDGs活動、他の取り組みを確認しており、多くの共通認識を持って取り組んでいることを確認している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	公的規格（食添、JIS、JWWA）等及び顧客との取り交わしに規定されている品質に適合した製品のみを提供している。			3.9									12.4					
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001を認証取得し、品質マネジメントシステムを全社で運用している。									9								
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	「研究開発管理規定」に設計・開発の手順、確認項目等を定め、この中で「地球環境に与える負荷の低減」等に配慮した製品となっているかを確認する手順が含まれている。						6						12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	経営方針に「地球環境と社会生活に貢献できる優秀製品を開発する」と掲げており、研究開発活動は社会に貢献できる製品を目指して取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）